



Southern Cross

くるす
わびわん

vol.19

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER
November 1.2011

がんサロン「ふれあい」 を開設しました

地域医療連携室看護師長

山口 佐和美

「がん治療をどんなにしてきたか他の患者さんから話を聞きたい。」「同じ体験をしているがん患者さん・家族さんから情報を聞きたい。」「近くにこのようなことを聞ける場所はないのか。」など、がん患者様やご家族からお声をいただき、当院のがん診療連携センターでは「がんサロン」を開設しました。

第1回は10月15日土曜日14:00～16:00に開催し、26名(職員を含む)の方の参加がありました。初めに、内藤サロン長によるオープニングの挨拶がありました。患者様やご家族は、緊張した様子で座っておられましたが、自己紹介で自分の病状について話される方もおられ、その後は打ち解け合い和やかな雰囲気の中、日々の送り方や、日常生活で困っていることなどの情報交換が行えました。参加された患者様たちに「ふれあい」と名をつけていただきました。患者様同士で「次にまた、逢いましょう。」という挨拶を交わし、閉会となりました。

今回は、11月5日土曜日14:00～15:30の予定です。同じ体験者同士で話しをすることで分かり合えること、元気をもらえることがあります。当院にかかっていらっしゃるがん患者様やご家族の方もお気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせは、事務局 社会保険紀南病院 地域医療連携室にお願いします。
電話番号 0739-22-5118(直通)

緩和ケアチームの活動について

緩和ケア認定看護師

川西 世津

「緩和ケア」は今とても注目されてきている分野…だと思っています。WHOでは「緩和ケアとは、生命を脅かす病気に起因した諸問題に直面している患者と家族のQOLを改善する方策で、痛み、その他の身体的、心理的、スピリチュアルな諸問題の早期かつ確実な診断、早期の治療によって苦しみを予防し、苦しみから解放することを目標とする」とあります。私は「緩和ケア」とは、様々な苦痛がある(あると考えられる)患者様・御家族の苦痛を和らげることを目標に多職種による多方面から支援を行うことと考えています。

当院では2年前より緩和ケアチームを結成し多職種で情報共有をしながら活動をさせてもらっています。各病棟・各外来の医師・看護師から患者様の紹介をして頂き、関らせてもらっています。今年の4月に内藤医師が研修から帰ってこられ、原田臨床心理士が新しくメンバーに入り、より一層の活動の幅を拡げつつあります。

私も緩和ケア認定看護師の資格を取得することができ、今年の4月から専従看護師として活動を始めたばかりです。至らない点も多いのですが、何事にも柔軟な姿勢で望みたいと思っています。「どのように紹介したらいいのかわからないのか?」「なぜこんな処方になったのか?」「緩和ケアについて聞きたい(患者様に説明してほしい)」「患者様・御家族の話を聞いてほしい」など疑問に思ったことは遠慮せず質問して頂き、私達を活用して頂けたらと思います。緩和ケアチームは皆様からの紹介で成り立っています。これからもよろしくお願ひします。

Southern Cross
kinan hospital official information paper

看護部養育への取り組み

学校教育では、個人教育にウエイトが置かれているのに対して、組織においては、組織の一員としての能力開発に主眼が置かれます。教育研修は組織の方向性や目指す姿を実践するための経営資源の一つである「人」への投資です。看護部としては、質のよい看護を継続的に提供できる人材を育成する必要があります。

又、組織の方向性と個人のキャリア開発の目的をいかに一致させられるかという視点が重要となります。その視点を意識しながら、看護部教育委員会が中心となり看護職員の教育に取り組んでいます。まだまだ課題は多くあります。

看護部の現任教育は、院内教育に加え院外教育を活用し充実を図っています。その内容は、新規採用者教育、リーダーシップの教育、スペシャリストの教育、看護部活動推進の教育、最新の知識習得を目標とした教育等です。

院内教育については、紀南病院のホームページに載せていますのでご覧ください。院内教育の一部を紹介しします。



写真は、7月に実施した新人3カ月研修です。2010年度から新たに業務に従事する新人看護職員に対する臨床研修等が努力義務化されました。新人看護職員のリアリティショックを軽減し職場適応を促し、看護実践の向上に向けて、「組織全体で新人看護職員を育てる」を看護部の目標にあげ取り組

んでいます。委員会や病棟主催の勉強会も頻回に開催されており、専門領域の知識を深めることができると好評です。

院外研修は、主に県看護協会、全社連主催の研修を活用しています。昨年度は院外研修に延べ538人が受講しました。

今年度も実習指導者講習会、医療安全管理者養成研修、退院調整看護師養成研修、感染管理研修、認定看護管理者教育、摂食・嚥下障害看護認定看護師研修等受講しています。

看護職員が前向きにがんばっている姿を見るのは、教育委員として励みになります。組織の方向性と看護職員の研修に対するニーズを把握しながら個人の能力に合わせたラダー別研修も力をいれていきたいと考えています。

最後になりましたが、研修の講師を快く引き受けてくださる病院職員の方々に深く感謝申し上げます。

看護学校だより



9月1日、2日に1年生は由良町の白崎青少年の家、2年生は大塔青少年旅行村へ教育研修に行きました。自主性・協調性を養うと共に、レクリエーションを計画する基礎的知識を身につけることを目的として企画・運営されました。2日間雨のため、企画内容を変更しながらクラスメイトと協力して、食事の準備やレクリエーションを行い学生間の交流も深まりました。3年生はその期間、授業や国家試験の勉強と臨地実習の準備を行いました。



9月30日、田辺消防署の消防士さんにご協力をして頂き、防災訓練を行いました。地震と津波を想定した避難訓練と地震後の火災を想定した煙体験でハンカチで口を覆い、姿勢を低くし、壁沿いに避難するなど、災害時の対処の講義と実際に学びました。



今後の予定

11月23日(水)24日(木)に学校祭を行います。

地域医療連携だより



田辺市大塔三川診療所
田辺市大塔富里診療所

柳川 卓弥

きのうの晩？

ある日の診療所外来です。風邪をひいたというおじいちゃんがやって来ました。

「のどが痛うて、ゆうべから熱もあるんや」

「のどはいつから痛かったんですか？」

「きのうの晩からや」

「ということは、ゆうべからのどが痛くなって熱もあるんですね」



三川診療所

「そうやのうて、のどはきのうの晩からで、熱はゆうべから」
「……？」

この会話、理解できますか？「きのうの晩」という言葉の、この使い方は私にとって初耳でした。このおじいちゃんによると、「ゆうべ」は前日の夜のことであり、「きのうの晩」は前々日の夜のことなのです。「きのうの晩」=「ゆうべ」と思っていた私には衝撃的な事件でした。

これ以降、いろいろな人に「あなたにとって、ゆうべとはいつ？きのうの晩とはいつ？」と聞いてみました。三川地区と富里地区の高齢者の多くは、このおじいちゃんのような使い方をされます。

しかし、若い世代の人は私の感覚と同じです。「ゆうべ」の定義はお年寄りでも若い人でも同じなのですが、「きのうの晩」の意味するところは人によって丸一日ずれるわけです。

「きのうの晩」が前々日の夜の事を指すというのは、この地区だけなのか？ 他の地域でもみられる現象なのでしょうか？

私たちは、常に「その症状がいつからあるのか」ということを患者さんにしつこく聞きます。その中でこういった小さな発見がありました。

さて、あなたにとって「きのうの晩」はいつですか？



富里診療所

病院のまど

第33回市民健康講座について

痔は誰しも罹る可能性があり、現に多くの方が痔に罹っています。中でも多いのがいぼ痔です。しかしながら、痔になってしまったことは他人に話づらいし、病院で手術というのも勇気がいらいます。痔の痛みは誰にも打ち明けられません。

そんなつらい痔に、最近、いぼ痔に対して画期的な注射が発売されました。いぼ痔は切らなくとも治る病気になりつつあります。この機会に、いぼ痔の治療法について一緒に学んでみませんか？

日時 平成23年11月13日(日)
時間 午後2:00~3:00
演題 いぼ痔を切らずに治す注射のお話
~長年ひとりで肛門の悩みを
お持ちではありませんか?~
演者 藤田 繁雄 (紀南病院 外科部長)
会場 紀南病院 3階講堂

第32回市民健康講座について

平成23年9月4日(日)に「前立腺がんのお話」と題しまして、当院泌尿器科医長、線崎博哉が講演を行いました。前日には台風12号による豪雨があり、当日も雨が残っていたにもかかわらず、72名もの方々が参加されました。

男性にとって前立腺がんは気になる病気です。今回はその早期発見と適切な治療と言うことで、皆様大変熱心に聴いて下さり、たくさんの質問を頂きました。

編集後記

台風12号の爪あとが、あちらこちらで見られ一度こわれると、もとに戻すことの大変さを痛感します。

仕事をなくした人も大勢いるのに、しんどいだけの忙しいだの言ってる場合じゃない、仕事ができるだけまし・・・と思いながら、毎日通勤しています。

テレビを見たり皆の話しを聞いて力を合わせると出来ることがある一と感じる今日この頃です。(T・I)

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所 : 〒641-0012
和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所 : 〒641-0014
和歌山市毛見 1111-1
大阪支店 : 〒550-0002
大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店 : 〒594-0031
和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店 : 〒646-0011
田辺市新庄町3778-2
神戸支店 : 〒650-0023
神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店 : 〒630-8115
奈良市大宮町4-295-10
奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所 : 〒590-0523
泉南市信達岡中919-1
新宮営業所 : 〒647-0052
新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス : 〒102-0083
東京都千代田区麹町3-5-2
BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス : 〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東入
東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

SEIKO MEDICAL
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本社
〒640-8527 和歌山県和歌山市手平3-8-43
TEL: 073-435-2333 FAX: 073-435-2223

■大阪支店
〒595-0012 大阪府市北區中町2丁目5番28号
TEL: 0725-31-3610 FAX: 0725-31-3519

■医大前営業分室
〒641-0012 和歌山県紀三井寺788番地の13
TEL: 073-448-3787 FAX: 073-448-3781

■田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL: 0739-25-4535 FAX: 0739-25-4578

■新宮営業所
〒647-0072 新宮市伏屋20番22号
TEL: 0736-31-9130 FAX: 0735-31-9133

■奈良営業所
〒632-0082 天理市荒藤町56番地の4
TEL: 0743-64-3607 FAX: 0743-64-4810